

# 目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、現状分析のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	A	A	A		
2. 研究科の理念・目的を掲載するウェブサイトの状況について、現状分析と改善のための意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	D	C	C		
3. 研究科の理念・目的に関して、教授会で毎年、見直しの必要性に関する意見交換会を開催する。	→意見交換会の開催回数	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
4. 毎年2回開いている入試説明会で理念・目的を参加者に説明している	→入試説明会の開催回数と参加人数			A		
	→					

### 《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	毎月開催されている研究科委員会(教授会)において、研究科のあり方(理念・目的)について、入試のあり方や1年次・2年次の中間段階での評価の点などの具体的な観点から議論されている。
目標2	ウェブサイトの更新時期などを研究科委員会で意見交換があったものの、必ずしも理念・目的の記述内容についての議論ではないため、今後は、目標1の達成と同じ姿勢で対応する。
☆ 目標3	前年度と同様に、理念・目的の見直しについて、研究科委員会において議論した。
目標4	年2回の説明会では、説明用の資料を作成して、理念・目的について説明した。
備考	